

12月号

広報

1987



とと

№177

昭和62年12月20日発行

発行所 瀬戸町役場

☎08947052-0111

〒796-05 愛媛県瀬戸町三机

編集 企画 西 祥



三机保育園

国道197号  
頂上線

# 半島に希望の道全通

## 15年の歳月と 410億円を投入

### 喜びの渡り初め 車つらねパレード

佐田岬半島の長年の夢だった国道一九七号頂上線が十二月四日、全線開通し、生活・観光道として一本につながった。最後まで残っていた塩成・川之浜間など五・一が、この日、供用開始され、東西から進められてきた「頂上線」が直結したもので、堀切大橋では開通式が行われ、「希望の道」の完成を祝った。



牛鬼を先頭に渡り初め(堀切大橋)

宇和海と伊予灘が同時に望める堀切大橋詰めポケットパークで関係者約千人が参加し

て開通式が行われた。午前九時二十分、岡田朋四国地方建設局長と阿部町長が記念碑

を除幕。森寛昭建設省道路局市町村道室長、伊賀貞雪知事ら九人によりテープカットが行われ、続いて阿部町長ら半島五町の町長がくす玉を割り、同時に風船やハトを大空に放ち、ムードを盛り上げた。

このあと三机東大仲社者による牛鬼を先頭に堀切大橋の渡り初め。町内の小学校の鼓笛隊や三機の木村勇さん(79)夫婦ら三代四組が一步一歩、喜びをかみしめるように渡り、開通を祝った。引き続き関係者ら四百人は七十台の車で半島をパレードし、八幡浜市までの頂上線を一時半にわたって走行した。寒風が吹き抜ける同大橋には、子どもから大人まで手旗を振ってパレードを出迎えた。また、交通安全母の会は甘酒紅茶でサービス、参加者をもてなした。



中学生 銀輪パレード

喜びいっぱいの銀輪パレード

開通を祝い三崎、瀬戸、伊方、保内の各町の中学生が五十人ずつ、リレーで銀輪パレードして、八幡浜市にメッセージを届けた。四ツ浜中と三机中は、三崎町名取から塩成までの十二キロを受けもち、強い風の中、沿道の町民やクラスメートから激励を受け力走町見中生に引き継いだ。午後からは八幡浜市白浜の八幡浜青果農協営農管理センターで竣工式が開かれた。堀切大橋などの通行は午後一時から一般車の通行が許可された。同国道は建設省大洲工務所が十五年の歳月と四百十億円を投じ建設された。地盤

の悪いことと急傾斜であるため難工事が連続し、トンネル二十か所(全長八・一〇四)、橋三十二か所(全長二・二九四)という、全線の構造物率三〇%近い道路となった。この日、供用開始されたのは塩成・川之浜間(四・七)と大久東トンネル(〇・四)。この区間にはルートの橋では最長で、逆ローゼ型橋では四

国二番目の長さという堀切大橋(二〇〇)など六橋と最も難工事だった大久東トンネル(一九一)など八つのトンネルがある。この開通によって、これまでの海岸沿いの旧国道五十四・四が十五・五、短くなり、時間も一時間五分から五十分に短縮された。一九七のゴロ合せで、いくなど言われた半島の秘境の

時代は終わった。しかし、新国道を真にプラスにするための正念場はこれからである。豊後水道に長く突き出した佐田岬半島は伊予灘と宇和海と山の変化に富んだものがあり、走行するだけでも魅力に富むものがある。半島の良さを最大限に生かし切らなければならぬ。

### ボクラらの感想

#### 《塩成小学校》

パレードの時、手がふるえてバチを落とさないか心配だった。  
五年 阿部 美紀  
橋から見ると、車が見えては消えた。もう一度こんな事をした。  
五年 清水 智子  
伊賀知事さんにあく手をしてもらって、とてもうれしかった。  
五年 阿部 慎一郎

#### 《川之浜小学校》

赤・白・黄・青いろんな風船がまい上がる。私のゆめもまい上がる。  
四年 真田 光子  
みんなのゆめをつめこんだ風船が飛んだ。メロディラインの開通だ。  
四年 是澤 留美  
はとがいつせいに飛び立った。明るい未来に向かってはばいた。  
四年 森口 美重

#### 《三机小学校》

新国道開通によって、きつと活気あふれる町になると思います。  
六年 谷本 淳二  
国道ができて便利になるけど、事故が起らないか心配です。  
六年 菊池 昌代  
国道ができて瀬戸の町が栄えてくれればとてもうれしいです。  
六年 藤淵 恭子

#### 《大久小学校》

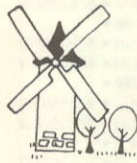
大橋の網をのそくと家がすく小さく見えました。  
三年 阿部 静華  
風船を飛ばしました。ハトも飛びました。きれいに見えました。  
三年 河野 広中  
くもった空にボンボンを強くふりました。橋がきれいでした。  
三年 石崎 恵理子

### 建設の足跡

- 昭和47年度 ●保内町川之石～伊方町中浦工事開始(大崎トンネル外)
- 昭和48年度 ●八幡浜地区工事開始(愛宕山トンネル外)
- 伊方町中浦～伊方町九町工事開始
- 昭和49年度 ●三崎町工事開始
- 昭和50年度 ●保内町川之石～伊方町中浦供用
- 昭和51年度 ●八幡浜地区供用
- 三崎町一部供用(三崎トンネル)
- 昭和53年度 ●瀬戸町塩成～瀬戸町川之浜工事開始
- 瀬戸町川之浜～瀬戸町大久工事開始
- 三崎町一部供用(名取トンネル外)
- 昭和54年度 ●伊方町漆浦～伊方町川永田供用
- 伊方町加周～瀬戸町三机工事開始
- 昭和56年度 ●三崎町一部供用(三崎大橋外)
- 昭和59年度 ●伊方町九町～伊方町加周工事開始
- 三崎町全線供用
- 瀬戸町川之浜～瀬戸町大久供用
- 昭和60年度 ●伊方町九町～伊方町加周供用
- 昭和61年度 ●伊方町全線供用
- 瀬戸町三机地区供用
- 昭和62年度 ●全線供用

**記念講演** 『自然の中で人間を考える』  
—映画監督— 羽仁 進氏

科学的に発達した現在、物質的に豊かになった私達は、人間について考え、見直すときではないだろうか。  
私は、十年ほど前から何度かアフリカを訪れた。そこには動物園の中にいる動物と



**シンポジウム'87**  
『あすの佐田岬半島』

はつきりさせることが大切。海洋リゾートライン、また松山への温泉ライン、そして九州・四国・本州へのネットワークとして役割を果たすべく、風景と歴史と豊富な魚介類の食文化を生かし、三崎は灯台と魚の科学館、瀬戸は風車と果実公園、伊方は健康スポーツと科学エネルギー、保内は園芸とバイオテクノロジー、八幡浜はファッションとグルメ、三瓶は芸能とマリランドの街として町づくりをしてはどうか」と半島活性化について意見を述べた。

は比べものにならない、太陽の光を反射させた輝くような動物たちがいた。物質文明に支えられた社会で生きている人間にとって、自然に入り込むことは非常に恐ろしいことである。百獣の王ライオンでさえ、アフリカの平原で獲物を取るのに大変だ。ライオンは何頭かで狩りをする。当然動物を殺して食べるわけだが、獲物の死も大自然の中ではごく一部なのである。一頭のライオンのせいで獲物に逃げられたらすると、そのライオンは責任を感じてかブルブル震えます。し

# 期待される観光

1市5町が役割り分担、

## 半島の未来を見つめて

国道一九七号全線開通を記念して、シンポジウム'87あすの佐田岬半島（主催・佐田岬広域観光推進協議会、愛媛新聞社）が十一月二十六日県立三崎高校講堂にて開催された。パネル討論会、記念講演などに、松山市、大分県からも集まった約七〇〇名の人々（瀬戸町より約七〇名）は、熱心に耳を傾けていた。開会にあたり、阿部茂久同協議会会長（瀬戸町長）が、



半島の活性化策に聞き入る（三崎高校体育館）

「私達が待ち望んでいた夢の道路が十五年の歳月を経て完成した。関係者の皆様に感謝するとともに、これを契機に佐田岬の活性化を行ない、日本一の佐田岬半島を目指すように、地域ぐるみで考えてほしい。本日のシンポジウムが明日の輝かしい第一歩となるように」とあいさつ。松下功愛媛新聞社社長は、「佐田岬半島を『愛媛の宝』としてひろく紹介し、観光・レジャー

の拠点としたい。また、九州四国間の海底トンネル構想においても半島地域の果たす役割は大きい」と述べた。地元菊池町三崎町長は、「二十一世紀へ向けて三崎町の位置づけを探ってほしい」と述べた。ほかたちの考える「あすの佐田岬半島」というテーマで佐田岬一市五町の小中学生から作文と絵画を募集。表彰式ら作文と絵画を募集。表彰式あとの撮影した半島の人々の写真が展示された会場で、三崎町立車小学校一年あべちから君二名が作文を朗読した。あべちから君の「あのはしをわたって」には、おじいちゃんへのいたわりや、子供らしい将来の夢を堂々と発表。会場から盛んな拍手を受けてい

### 半島の今後進むべき道は

#### パネル討論会

瀬戸町田部出身の稲生啓・前松山商科大学長をコーディネーターに八幡浜市の写真家新田好氏、木原敬明・三崎町助役、長谷川弘直・都市環境計画研究所所長の三人の講師が発言した。

### 上空から見た佐田岬

当日、ヘリコプター搭乗会があり、瀬戸町からも二名の方に乗っていただきました。約五分間の短い飛行で、瀬戸町を上空から見ることができなかつたのは残念でしたが、感想をうかがってみました。



井上重久 (大江)

ヘリコプターに乗って、山の頂まで耕地が開かれた宇和海側、雑木林が海岸まで迫った伊予灘側を見て思う事は、自然条件の異なるこの狭い箱庭の半島、その中央を走る一

かし、他の一頭が体をなめてやると震えがピタリと止まる。自然のおおらかさが表われていてはいないか。  
ある時、珍しいゴリラを見ようとして原産地のビグミー族に案内してもらった。「ゴリラとじっと目を合わせてはいけません。そして逃げ出せばいい。それと彼らは言う。いざゴリラを目の前にすると、恐ろしくてそんな注意は忘れてし



高月和也 (足成)

本線の、海岸近くに見える集落、この線と点を結んで新しい発想からの産業振興を図らなければならない。苦勞し努力し働いてもなお、報われない現状から脱却しなければ、一本の線だけでは地域の活性化と過疎現象の歯止めにはならないではないか。  
更に、今後観光開発を進める上で、見る・食べる・買う、これらの条件整備を早急に進めなければならない。  
また、海岸まで迫った雑木林を樺、カリン等の良材に改植して、荒地を見直す草の根運動を興す事も、大切な事のように思いました。

まったが、体がすぐくんでしまつて下を向いたまま動けない。そのおかげで（？）ビグミー族にはたいそうほめられた。その後、珍しいゴリラを見に行つたが、ある日のこと目の前にある木の枝から見えかくれすゴリラの下半身がしばらく止まった。私も多少の慣れで、そつとその枝を上げてみるとゴリラの方も同じように枝を上げてこつちを見ていた。

ライオンやゴリラ以外にもアフリカには大小さまざまな野生動物がいる。そしてそれぞれが役割を持って生きている。文明により人間は一樣にされてしまった。しかし、地域特性を知ってもらうために互いを理解し、互いを認め合うような場所が必要ではないだろうか。目前にあるものをまず理解、認識することが、人間には必要なのである。

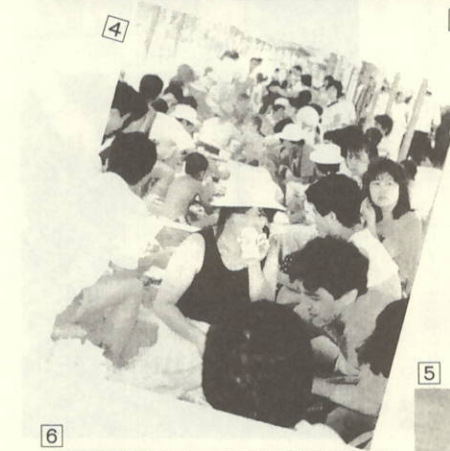
# '87 瀬戸 町10大ニュース

## できごと

- ① 国道197号頂上線全線開通  
半島の夢を乗せて、15年の歳月と410億円の工費を投じ、12月4日全線開通した。
- ② 姉妹町縁組締結  
岡山県瀬戸町と同名のよしみで交流が始まり、7月28日姉妹町縁組の調印式が行われた。
- ③ 第2期阿部町政スタート  
町長選挙が10月20日告示され、無投票再選で活力あるふるさとづくりに向けてスタートした。
- ④ 瀬戸の花嫁まつり'87  
県警プラスにパーベキュー、ウインドサーフィンや海上花火など多彩な催しに大勢が詰めかけた。
- ⑤ 松山直通バス走る  
全通した頂上線に12月5日からバスが走る。松山まで2時間20分で結ばれた。
- ⑥ 佐田岬シンポジウム  
佐田岬地域を全国的に売り出そうと広域観光推進協議会を6月20日、1市5町で設立。
- ⑦ 佐田岬駅伝  
国道197号頂上線の全線開通を記念して、11月29日三崎一八幡浜間駅伝大会が開催された。
- ⑧ JR四国で交流事業  
JR四国では初の列車内物産展と後継者交流事業が11月1日行われた。
- ⑨ 大久小学校落成  
待望の校舎が3月15日落成した。
- ⑩ 瀬戸町特産加工組合設立  
7人の共同出資により設立、山菜加工、果実加工、味噌づくりなど特産品開発をめざす。

今年も早や十二月。半島住民の悲願であった頂上線が全線開通して、半島新時代の幕明けの年となった。そして、佐田岬地域が広域的に取り組みが展開された年でもあった。わが瀬戸町においてもいろいろなドラマがあったようです。一年の締めくくりに月あたり、広報担当者が選ぶ今年の十大ニュースと題して順位をつけてみました。

今年の  
十大  
ニュース  
が



# 地球を駆け巡る

## 自転車などで三十カ国

自転車などで世界三十カ国、三万八千キロを  
 冒険旅行した川之浜の河野兵衛さん(29)がこ  
 のほど、六年九月ぶりに帰郷した。長い旅  
 の疲れを家でいやししているところ。この日  
 はみかん山にインタビューに伺った。

世界旅行に出かけたのはいつですか。と尋ねると「81年です。答が返る。「昭和や円」がピンとこないという。地球を北から南へと駆け巡った年月を物語る。

河野さんは県立三崎高校在学中の三年間、往復三十四キロの道のりを自転車通学した。自転車好き。卒業後、資金をため、昭和五十六年二月、サイ

クリング自転車と日本を出発した。台湾を手始めに、オーストラリア、ニュージーランド、ハワイ、アラスカ、カナダとペダルを踏み続けた。アラスカでは五十一日間、ユーコン川二千キロのカヌー下りを体験。また五十八年には半年がかりで徒歩でアメリカ横断した。

資金がとだえたため、ニュ

ヨークのレストランの皿洗いをしたり、各種ロードレースにも挑戦。六十年南米へ出発し、アンデス山脈の最高峰のアコンカグアに登頂、チリでは遭難した友達を救助した。さらにパキスタンのナンガパルバット(八二二五)登頂付近でアイスブロックの崩壊に遭い、顔を二十七針も縫う大けが。資金もつきたことなどから先月、帰国した。

自分の旅は「いろいろなものにトライ。自分の最高点を伸ばすこと」という。外国での生活は必要にせまられるばどうにかなる。またトヨタやセイコーなどのハイテク産業製品や日本の経済力をよく耳にしたという。

河野さんは現在、日本アト



みかん園でリフレッシュする河野さん

# 情報 タウン

# ホット ウインド



## 佐田岬メロディーラインで 駅伝大会

国道一九七号頂上線開通を記念して十一月二十九日に、三崎、八幡浜間駅伝競争大会(主催、愛媛大分連絡国道開設促進期成同盟会、佐田岬広域観光推進協議会)が行われた。三崎町商工会前をスタート、八幡浜市役所前をゴールとした四〇・一九七(六区間)で計五十八チームが健脚を競った。

午前十時三十分スタート。開通式が目前にひかえ、きれいに整備された道路を名物とも言える風のなかをひた走る。堀切大橋東詰の二区と三区の中継点にも大勢の人々が集まった。全長二〇〇キロの橋を最後の力を振り絞り力走する選手たち。二区は区間最長(一〇・七)という区間もあり、選手の疲労も激しく、なかには足をひきずったり、よるめきながらタスキを渡すシーンもあり、地元の人たちの盛んな激励を受けていた。

九州大分県からも、杵臼市体協が参加。瀬戸町からも瀬戸体協から二チームが参加し、大会を盛り上げた。順位・タイムは次のとおり。



堀切大橋は大歓声の渦

### 瀬戸体協A セクセン 37

氏名	第1区	第2区	第3区	第4区
久世 康夫	1:00'16"	1:33'33"	1:53'01"	
区間タイム	25'40"	30'36"	28'17"	19'28"
氏名	第5区	第6区	時間	順位
藤本 安彦	2:28'46"	2:28'46"	2:28'46"	1.9
区間タイム	19'11"	16'34"		

### 瀬戸体協B セクセン 56

氏名	第1区	第2区	第3区	第4区
松田 福夫	1:12'39"	1:43'26"	2:04'42"	
区間タイム	26'45"	45'54"	30'47"	21'16"
氏名	第5区	第6区	時間	順位
亀井 敏博	2:41'26"	2:41'26"	2:41'26"	3.6
区間タイム	20'09"	16'35"		

## コンピューター始動! 火入れ式行なわれる

先月号にご紹介しましたコンピューターの火入れ式が11月30日午後2時より関係者が集まり行われた。これは、12月1日の業務開始に先立ち行われたもので、阿部茂久町長が、「やっと始動する運びとなりました。関係者の皆様にお礼申し上げます。」とあいさつ。つづいて山本寿町議会議長が「設備も整い職員の一層の努力を期待します。」と述べた。

コンピューターの入力を行った株式会社デンケンに町長より感謝状が贈られたのち、関係者によるテープカット。阿部町長がコンピューターのキーを押すと住民票が打ち出され、第一号として係員より手渡された。



住民票を受け取る阿部町長

## EBC 『ときめきフライデー』のロケ本町に

テレビ愛媛の番組「ときめきフライデー」の取材が11月29日、堀切大橋詰めのポケットパークで行われた。番組は佐田岬の魅力を紹介するもので取材関係者のほか、松山の観光客40人がバスで訪れた。取材地となった同大橋には寒風の吹きぬける中、特産品加工組合の方が自慢の加工品をもって出迎え、即売した。特産品は「あっ」という間に売り切れ、慣れない取材にも応じていた。



即売にてんやわんや(堀切ポケットパーク)

ベンチャーサイクリストクラ  
 プ(大阪)の会員で、来年はア  
 フリカへと次なる世界旅行に  
 燃えている。

# 瀬戸の花嫁便コーナー

## 瀬戸の花嫁便会員各位様

歳末寒冷の折柄、皆様方には益々ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。昭和62年も残り少なくなりました。この一年、瀬戸の花嫁便協議会の事業推進に対し格別なる御支援・御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昭和63年も倍旧の御愛顧の程お願い申し上げます。

本協議会も会員皆様方のご要望に応えるため、わが町自慢の新鮮な味にふるさとの真心を添えて、年3回海のもん・山のもんの品をご家庭にお届けし、瀬戸町の選りすぐった味覚とふるさとの香りを楽しんでいただくことや、心の交流又、町特産品の紹介宣伝等幅広く取り組んでいきたいと張り切っております。

会員皆様の変変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

昭和62年12月吉日

愛媛県西宇和郡瀬戸町三机乙3003の6

瀬戸町長 阿部茂久  
瀬戸の花嫁便協議会長

## 瀬戸の花嫁便協議会から

### 継続加入案内

時下、益々清栄のごときお慶び申し上げます。平素は、ひとかたならぬご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。「ふるさとの香りを都会の皆様」に「始めましたこの事業」お陰をもちまして、十二月で満一年八ヶ月を迎えることができて、瀬戸の花嫁便協議会一同あらためて初心にかえるとともに、今後も研究を重ね、皆様に親しまれる「ふるさと小包」を目指して頑張る所存でございます。また、「ふるさと交流会」など心のふれあいを大切にしていきたいと思います。

## おたよりコーナー

瀬戸の花嫁便のコーナーにニュースとして掲載していただきたいと、久世郁子氏(宮崎県日向市)より新聞の切り抜きを送っていただきました。早速掲載させていただきます。内容は、宮崎県日向地区愛媛県人会が発足したとの事です。愛媛県人会結成は、十年前から話題になっていたそうですが、なかなか実現までには至らなかったそうです。でも今年の夏、瀬戸町出身者(瀬戸の花嫁便会員)久世郁子氏の御主人(久世燃料社長)久世綱雄氏・花嫁便会員である梶原万次氏ら三人が発起人代表となって呼びかけたところ、愛媛県出身者七十三名が在任

していることが判ったそうです。そこで、十一月二十三日(日)大安の日、日向地区在住の愛媛県人会総会が都町の大乃家で開催され、今後お互い励ましていかながら親睦を深めていくことを約束し、久しぶりの伊予弁でふるさとの想い出話に花を咲かせたとのホットなニュースでした。

## 【連絡】

- ①瀬戸の花嫁便会員の皆様、住所・電話番号等に変更があった場合は、必ず事務局までご連絡下さい。
- ②十二月便発送は、十二月二十一日です。ふるさとの味と香りをのせてお届けしますの「賞味下さい。特産物のご賞味方法は、ふるさと小包の中に同封しております。
- ③瀬戸の花嫁便に関するご意見・ご要望・ホットなニュース等ありましたら、お気軽に瀬戸の花嫁便協議会事務局まで。

## 紹介コーナー

### 大久診療所に医師着任



大久診療所 所長 西村 勇

大久診療所に医師が着任、十二月から診療を行っている。医師の名前は西村勇先生(46)で三重県出身。先生は「地域医療に尽力、責任を果したい。特に寝たきり老人の定期往診、学校検診など、また周辺地域の医療機関と連携を密にして、良好な診療網を築きたい」と抱負を語っておられる。

語っておられる。生活面では、海と風景がきれいで人情味あるこの地で和やかに暮らしたいとのこと。専門が消化器内科である先生は日本内科学会、日本消化器内視鏡学会の会員でもあら

れる。趣味は水泳、スキー、テニス、ドライブなど。今後、釣りも挑戦してみたいとか。先生は妻と息子三人の五人家族。健康相談・医療相談等お気軽にご相談ください。住民の皆さん、今後ともよろしくお願ひします。

## 医療費を大切に 使いましょう

みなさんがよくお医者にかかる病気の中でも、もっとも多いのが風邪。カゼはだれでも、ひきやすしい病気です。

この医療費がいくらかかるかごぞんじですか。

1回カゼをひくとある程度の治癒までに、約5,000円の医療費がかかるといわれています。たかがカゼとばかりにできません。カゼにも負けないように日ごろから心がけ、いざという時の蓄えである保険税を大切にしましょう。

## ◀本町の医療費の状況▶

(昭和62年9月診療分)

### 1. 国民健康保険医療費の状況

(0才~69才の国保加入者1,855人分 ※退職医療含む)

区分	受診件数	受診日数	医療費の総額	保険者負担額(A)
全体	1,111	3,306	22,379,920	15,733,431
1人あたり	0.60	1.78	12,065	8,481

高額療養費支給額(B)	町負担額合計(A+B)
491,240	16,224,671
265	8,746

### 2. 老人医療費の状況

(70才以上の国保加入者及び社保加入者618人分)

区分	受診件数	受診日数	医療費の総額	町負担額	備考
全体	636	3,072	20,460,130	20,039,650	老人医療受給対象者(618人) 内訳 ●国保加入者(492人) ●社保加入者(126人)
1人あたり	1.03	4.97	33,107	32,427	

## 【保険税について 注意すること】



保険税は国保運営の大切な財源です。保険税を納めないでそのまましておくことは許されません。保険税の滞納世帯には次のような措置をとることもありますので、納め忘れないように注意しましょう。

### ●保険証の返還・給付の差し止め

災害など、政令で定められた特別の事情がないのに保険税を滞納している場合には、保険証の返還や給付の差し止めなどの措置を受けることがあります。

### ① 被保険者資格証明書を発行します。

保険税を返還された世帯には、保険証のかわりに「被保険者資格証明書」が渡されます。また、老人保健制度による医療を受けている人や公費医療を受けている人には別の保険証を渡しますので、これだけ診察を受けてください。

### ② 一時全額の支払いが

被保険者資格証明書で医療を受けると一時全額支払うこととなります。後に国保から7割または8割相当額をお支払いいたします。

### ③ 保険税を完納すると

保険税を完納されたとき、または滞納額が減少しほどなく完納が認められたときや政令で定める特別の事情のあるときには、保険証をお渡しいたします。

## 《1月保健事業のお知らせ》

### 健康相談

- 1月12日(火)/午後 1:30~ 3:00 / 大津集会所
- 14日(木)/午後 1:30~ 3:00 / 志津集会所
- 19日(火)/午前 10:00~ 11:00 / 瀬戸町中央公民館
- 22日(金)/午後 1:30~ 3:00 / 小島集会所
- 26日(火)/午前 10:00~ 11:00 / 佐市集会所
- 26日(火)/午後 1:30~ 2:30 / 上倉集会所
- 28日(木)/午前 10:00~ 12:00 / 塩成集会所
- 29日(金)/午後 1:30~ 3:00 / 足成集会所

### 栄養教室

- 1月19日(火)/午前 10:00~ 14:30 / 瀬戸町中央公民館
  - 28日(木)/午前 10:00~ 14:30 / 塩成集会所
- ……しあわせは健康から、みんなで参加しましょう……

## 建設工事入札結果発表

工事名	工事数量	指名業者名	落札業者名	落札金額 <sup>96</sup>	工期
県単林道 小島高松線開設工事	L=560.8m W=4.0m	太陽建設・藤川建設 永井工業・梶原建設	梶原建設	7,500,000	自62.11.21 至63.3.19
町単田部漁港 防波堤改良・護岸改良工事	防波堤L=12.5m 護岸 L=10.0m	梶原建設・松井建設 ヤマキ建設	梶原建設	750,000	自62.11.21 至63.1.19
62災39号 西小島漁港 防波堤災害復旧工事	L=16.0m	若菜建設・朝田建設 太陽建設	堀田建設	1,400,000	自62.11.21 至63.1.9
瀬戸ふるさと自然の家 建設工事	A=703㎡ 管理棟・ 宿泊棟・集会棟・屋外 遊下・附帯工事1.0式	堀田・西南・八幡浜 浜上・大任・伊藤組 河野・井上建設	西南土建	38,000,000	自62.12.1 至63.3.10
地域環境整備事業 町道神 崎地区内6号線生活道路整 備工事	L=46.0m W=3.5m	梶原建設・太陽建設 藤川建設・永井工業	梶原建設	5,900,000	自62.12.9 至63.3.25
分割2号 町単瀬戸町ゾニ焼却場用地 造成工事	舗装工 54.0m 水路工 117.5m	藤川建設・永井工業 梶原建設・太陽建設	藤川建設	5,200,000	自62.12.9 至63.2.10
川之浜浜道測量委託業務	L=1.0km	中村測量・大三測量 八幡浜測量・八洲測量 アイシン調査設計	大三測量設計	900,000	自62.12.9 至63.2.10

## わが家のアイドル

小松 重明さんの長女  
正美



加奈ちゃん(三机)  
昭和60年8月7日生

そとで遊ぶのが好きな子です。  
健康で、やさしく思いやりのある子に育ててほし  
いと思います。

—よろしく—

山下 敏明さんの三男  
智美



義明くん(小島)  
昭和62年6月26日生

我家のいたずらっ子の義明です。  
小さいけど、お兄ちゃんやお姉ちゃん相手にけん  
かしたり、あそんだりしています。男の子だけど、  
あいきょうばつぐん。

### 人々のうごき

(11月末現在)

世帯数	1,310戸(+1)
人口	3,515人(+2)
男	1,622人(+4)
女	1,983人(-2)
本籍数	4,399戸(+3)
本籍人口	14,790人(-15)

昭和62年11月分

末長くお幸せに

お誕生おめでとう

おくやみ

## ゆうちゃんコーナー

皆様お元気ででしょうか、年の瀬も押し迫り何かとお忙しいことでしょう。

●年賀状は、なるべく12月20日ごろまでに●

年賀状はもうお出しになりましたか? 郵便局では、元旦になるべく多くの年賀状を確実にお届けできるよう、なるべく12月20日ごろまでにお出しになるようお願いいたしております。まだお出しでない方は、お早くお出しく下さい。

●ポスト取集は休みなし●

郵政省では、11月から郵便のスピードアップの為「日曜日」も普通扱いの小包郵便物の配達と、ポストの郵便物の取集めを全国的に実施しています。いままでは日曜日は「ゆうパック」の場合、速達小包だけしか配達してなかったほか、ポストの取集めは一部地域のものを実施していたものを全てに拡大いたしました。お客様のニーズにマッチして改善を図ったものです。

●年賀状の消印省略期間の延長●

これまで、12月15日から28日までにお出しになった年賀状は、元旦に配達することにし、消印を省略していましたがこれを今年度から、更に一通でも多くの年賀状を元旦にお届けするため、12月29日から31日までに差し出されたお年玉つき年賀はがき、年賀を米記した「一般官製はがき」も消印を省略させていただきますことになりました。そのため1月3日以降も消印がきれいない年賀状が配達される場合がありますのでご了承ください。

●年末年始の意に取扱時間●

(12月29日~31日) (1月1日~3日)

\*郵便関係/平常日と同じ 9時から12時30分まで

\*貯金保険/平常日と同じ お休みいたします。

本年も皆様方には一方ならぬご理解・ご協力を賜りありがとうございました。お元気で平和な良い新年をお迎えください。

## 年金コーナー

今年納めた国民年金の保険料は、税金の課税対象となる総所得金額から「社会保険料控除」として控除されます。この保険料は、本人の分および家族の分も含めたものが対象となります。

保険料を前納した場合や、納め忘れた過去の保険料を、今年納めた場合も同様の扱い

となり、所得を申告する場合には、忘れずに控除の手続きをしましょう。

詳しいことは、役場の国民年金係へおたずねください。

●62年1月~3月 (月額 7,100円)	21,300円
●62年4月~12月 (月額 7,400円)	66,600円
合計	87,900円

### 編集後記

年の瀬を迎え、何かと気ぜわしい毎日です。

今年は半島の夜明けともいうべき国道一九七号上線の全線開通や、活性化へのいろいろを試みが目白押し。いろいろの人と出会い、話すことができました。これからもできるだけ多く、よりホットな情報をお届けしたいと思います。読者の皆様、よいお年をお迎え下さい。(広報係)